

医療施設調査結果の利用状況

医療行政等の施策への利用

施設数、病床数、診療科目別施設数は最も基礎的なデータとして利用されている。

1 医療提供体制関係

医療提供体制・医療計画等の見直しのための基礎資料（都道府県別医療施設数・病床数、都道府県別医療施設・病床数人口10万対）

「安心と希望の医療確保ビジョン」具体化に関する検討会資料： 「日本と欧米諸国の病院の国際比較について」

医療施設体系のあり方に関する検討会資料： 医療提供体制の現状

医師の需給に関する検討会資料： 医療施設調査の概況

2 診療報酬関係

診療報酬改定検討の際の基礎資料

医療保険制度の施策策定の基礎資料（データリンケージした医療費統計（医療費の動向）を利用）

3 その他

「子ども・子育てビジョン」（平成22年1月29日閣議決定）： 施策に関する数値目標の新生児集中治療管理室（NICU）病床数

がん対策推進基本計画中間報告書（平成22年6月15日厚生労働省）： 緩和ケアチームを設置している医療機関数等

今後の精神保健医療福祉のあり方に関する検討会資料： 精神病床のみを有する病院における他の診療科の標ぼう状況

政策評価の指標

都道府県における保健統計年報等行政資料

他の統計調査の標本設計における利用

患者調査、社会医療診療行為別調査、医療経済実態調査等の調査の標本設計に当たり、母集団情報を提供

白書等における分析での利用

OECD (Health Data) への報告： 医療機器の設置状況等

厚生労働白書： 施設数・病床数等

「WHO西太平洋地域加盟保健状況調査」等